

## 財政をめぐる7つのウソ (その1)



一般社団法人 全日本建設技術協会 会長 おお いし ひさ かず  
大石 久和

今回は、思想遍歴の紹介は一時休止にして、正しい財政認識を獲得するための説明をしたい。この欄でも何度か財政を論じてきたが、ここにまとめて示すのは、全建会員が正しい理解を獲得し、安心と自信を持って業務に邁進してほしいからである。

公共事業＝インフラ整備などをやるために建設国債を発行し続けても、財政破綻など論理的に起こり得ないのだが、それを否定する「財政破綻論」ばかりがメディアを駆け巡り、インフラの整備水準が他の先進国から劣化する状況がつけられてきた。

この財政破綻論は、ウソで塗り固められていると言ってもいい状況なのだが、すべてのメディアがウソを垂れ流しているから、人々もすっかりだまされている。是非一度、頭のリセットボタンを押してお読みいただきたい。

(これについての詳しい説明は、筆者(会長)が出演する全建の講習会で行うこととしているので、楽しみにして参加していただければ幸いである。)

### 塗り固められた7つのウソ

これらのウソとは次に示すとおりである。

- ①「財政を家計にたとえると」のウソ
- ②「国の借金」のウソ

③「借金1000兆円」のウソ

④「国債は後世へのつけ回し」のウソ

⑤「消費増税しかない」のウソ

⑥「健全財政が正しい」のウソ

⑦「このままでは財政は破綻する」のウソ

こう並べてみると、財政説明はウソだらけなのだ。これが「ウソ物語」の話で閉じているうちにはいいのだが、この認識の下に、教育費や公共事業費などを削り、経済成長が阻止され、結果として国民が貧困化してきていることが問題なのである。後述するように、財政問題を解決できるのは経済成長だけなのである。

財政に問題があるとして歳出削減や増税をやると、それは必ず国民の購買力を低下させ、需要不足によってデフレを促進し、国民の貧困化を必然的に引き起こしてしまうからである。これはすでに「平成の経験」が証明しているのである。

①「財政を家計にたとえると」のウソ

メディアは財務省の発表通り、財政は家計にたとえると火の車だと概算要求時や暮れの政府原案予算の国会提出時期が来るたびに、このように説明している。つまり、Aさんの家では夫と妻の稼ぎでは生活費をまかなえず、

「銀行に多額の借金があるにもかかわらず、毎月多くの借り入れをしている」という状況に日本の財政はあるという説明だ。

これは明確にウソである。財政の収入（歳入）は、税金も国債も広くいえば日本国内で完結しているのであって、「日本や日本国民以外の誰か」から資金調達しているわけではないのである。日本財政に貸し付けを繰り返してくれる便利な銀行など、世界中のどこにも存在していない。

税金も国債も国民によって支えられているのであって、アメリカなどに日本に優しい銀行があって、そこから借りているのではない。（国債発行は銀行の日銀当座預金の政府の当座預金への振替えとなる。）

おまけに、政府には「通貨発行権と徴税権がある」のだ。最近も消費増税が議論されているように、政府はいざというときには増税もできるし、統合政府である日銀が通貨の量を増やせるのである。家計にこのような機能があるはずもなく、この意味でも「家計にたとえる」ことなど不可能だし、たとえてはならないものなのだ。

この不可能なことを財務省が発表してメディアがそれを垂れ流し、国民の認識を誤らせるように仕組んでいるのはとんでもないことだと言わなければならない。

## ② 「国の借金」のウソ

よくメディアは財務省の指導通り、「日本国の借金1000兆円を超える」などと報道している。それが国民一人当たり900万円の借金になるなどの説明も加えている。

これは、国民に対する「脅し・ブラフ」である。①でも述べたように、「日本国」は日

本国以外のどこからも借金をしていない。むしろ世界に対しては、現在でも最大の貸し付け国（＝債権国）なのである。

いまの日本で起こっていることは、「政府に民間からの債務があり、ちょうどその分、民間は政府に対して債権を持っている」ということなのだ。ということは、「民間は国債として980兆円、その他の短期借り入れや政府短期証券などを合わせて1280兆円ほどの『政府に対する取立権』を持っている」ということなのだ。

したがって、おぎゃーと生まれた赤ちゃんが、900万円ほどの借金を抱えているという説明はデタラメで、この赤ちゃんは900万円ほどの政府への債権（＝取立権）を持って生まれたのだ。やがておじいさんや親の世代から引き継ぐことになる「日本政府への多額の債権を持った」大変お金持ちの赤ん坊なのである。

この実態を「国の借金」と説明することは、国民の正しい理解を妨げ、間違った認識に誘導する実に罪深い行為だと言わざるを得ない。

## ③ 「借金1000兆円」のウソ

2019年の予算ベースで、日本の国債は980兆円に達している。しかし、このうち約350兆円は日本銀行が保有している。日本銀行とは、いわば日本政府の子会社のようなものでこの二つをあわせたものを「統合政府」ということがあるが、統合政府で国債を見ると約630兆円を抱えていることになる。（続きは次号）